

久保川流域ため池群

(くぼかわりゅういきためいけぐん)



全景



豊かな水性生物を有するため池

ため池の概要

□ため池の所在地

岩手県一関市

□ため池の特徴

久保川流域には、細かな起伏に富んだ複雑な地形に棚田が展開しており、上流域にある300ヶ所の小規模なため池群が唯一の水源として利用されています。

山あいにならびに点在してたたずむため池群は伝統的な手法で管理されており、周囲の棚田や雑木林と一体となって素晴らしい里山景観を呈しています。

また、多くの絶滅危惧種を含む豊かな水生生物相がみられ、全国的にも稀有となった淡水系ネットワークが良好に維持されています。

地域では、ため池を含むフットパスの整備を進めており、里山の自然や景観に触れ合う場として、都市から訪れる人の案内も行っています。

また、この豊かな自然環境を世代、地域を越えてつないでいくため、「久保川イーハトーブ自然再生協議会」が設立されました。

協議会には地域住民、NPO、大学など多様な主体が参画し、生態系調査を継続的に行っており、近年侵入がみられるウシガエル等の侵略的外来種の排除活動も行っています。

関連情報